



2007年度を振り返る

2007 年度社会福祉学部の概括

学部長 前山 智

1. 教員体制

2007年度の社会福祉学部教員数は2006年度と同数の12名であるが、宮上助教授の教授昇任、太田助手の助教昇任(4月1日付)により、教員構成としては、教授5名、准教授3名、講師3名、助教1名となる(4月1日より施行された学校教育法の一部を改正する法律により、助教授に代えて准教授と新たに助教職が設けられた)。また、長澤准教授が英国ブライトン大学において約2ヶ月間海外研修を行った。

2. 教育

カリキュラムに関しては、「面接技法」と医療施設の社会福祉現場実習施設への指定に対応するために「医療ソーシャルワーク論」を新設し、必修科目と選択科目の一部入れ換えを行った。現場実習に関しては、7月末から10月末にかけて3回生が社会福祉現場実習を、4回生が精神保健福祉援助実習を行い、2月に実習報告会、3月に実習連絡協議会を開催した。卒業研究に関しては、5月に卒論構想発表会、10月にポスター形式による卒論中間報告会を経て、42名が12月20日に卒業論文を提出し、2月に開催した卒論発表会において発表した。社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正にともなう社会福祉士養成の新カリキュラムに関する情報を収集し、「2009年新カリキュラム検討委員会」を設置して対応の検討を開始した。

3. 研究

競争的研究資金の獲得状況は、科研費3件(2008年度応募4件)とその他の外部資金1件であり、学内では学長特別枠研究プロジェクトに2件採用された。また、研究倫理委員会および倫理審査に関する内規を整備して、卒論を含めた「人を対象とする研究」には開始前に研究倫理審査を導入した。

4. 自己点検評価とファカルティ・デベロップメント(FD)

自己点検委員会を設置して、2009年度に受審する大学認証評価に向けて、2006年度の活動を対象として11の大学評価基準に基づき自己点検を行い、「社会福祉学部自己評価書」を作成した。自己点検評価資料として毎年度作成してきた「社会福祉学部報」第8号(2006年度版)についても、従来の様式で作成したが、印刷は取りやめて学部ホームページに掲載して公表した。FD活動の一環として、学外の「2007年度全国社会福祉教育セミナー」や「第9回福祉教育研修講座」などの研修会に参加するとともに、FD委員会を設置したが、学部独自のFD研修を企画できなかったため、大学院が企画したFD研修に参加した。

5. 入学生と2008年度入学試験

4月に第10期生となる34名(県内出身15名)、3年次編入生3名が入学した。2007年度入試では志願者が2006年度入試に比べ約60%程度に減少したので、県外で開催された進学相談会に積極的に参加するとともに「オープンキャンパスに参加できなかった方のための社会福祉学部説明会」を初めて開催するなど志願者確保に努めた。2008年度入試では試験方法などの変更は行わなかったが、他の公立大学社会福祉学系学部と同様に、志願者数は少し回復し、志願倍率は前期入試が5.4倍、後期入試が40倍であった。これらの志願倍率は15の公立大学社会福祉学系学部の中では両者とも第1位である。特に後期の志願倍率は公立大学の全

学部の中で第1位となった。県内対象の一般推薦入試では倍率が2倍に回復し、県外も対象となる専門推薦入試では県外から三人目となる受験者が合格した。

6. 卒業生と就職

2008年3月に第7期生42名が卒業した。3月末までに、就職を希望した卒業生37名の内33名の就職先が決まった。就職先は約80%が医療・福祉の分野であり、また県内就職が34%となり少し割合が低下した。4回生を対象とした就職ガイダンスや、就職に対する意識を高めるため、1~4回生を対象とした就職セミナーを開催した。

7. 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験

第7期生が2008年1月に実施された第20回社会福祉士国家試験と第10回精神保健福祉士国家試験を受験した。勉学の環境整備と学生への個別的な働きかけを強化した結果、低下傾向にあった前者の合格率が75.7%に回復し196校中10位となり、初めてベストテン入りを達成した。後者も合格率は91.3%で90%台を維持し、107校中12位であった。

8. 地域貢献活動

「2007年度社会福祉学部リカレント教育講座」として学部教員による4講座と2回の特別講演を開催したところ、延べで約440名の福祉関係者等の参加があった。また、7月末に「第8回高校生のための公開講座」開催し、学部ホームページで広報した結果、県外からの3名を含め延べで44名の高校生が受講した。

9. 広報活動

社会福祉学部紹介パンフレット「こんにちは社会福祉学部です。(2007年度版)」、「2007年度版 社会福祉実習報告書」を発行した。学部ホームページによる迅速な学部行事や入試情報等の発信に努め、1月には学部ホームページをリニューアルし、学部掲示板を設けて、在学生への情報発信にも活用を始めた。

10. 対外行事

本学部教員が中心となり、6月末に「日本精神保健福祉士養成校協会 2007年度全国研修会・総会」が池キャンパスで開催された。学生もボランティアとして開催に協力した。

11. 学生の活動

学内では、5月に2~4回生が企画した「新入生歓迎学年間交流会」、2月に3回生が企画した「4回生を送る会」が卒論発表会に終了後に開催された。

学外では、5月に開催された「第9回高知県障害者スポーツ大会」、6月に開催された「第55回日本医療社会事業全国大会および第27回日本医療社会事業学会」に学生ボランティアとして参加し、9~10月に行われた若草養護学校小学部・中学部修学旅行にも介助ボランティアとして学生が同行した。8月には、社会福祉学部学生が主体となるグローバルクラブを活動母体とした「日韓学生よさこいチームJaparean」が第54回よさこい祭りに出演した。

2007 年度社会福祉学部の主要行事

4月	2日	(月)	辞令交付(宮上教授、太田助教) / 第1回教授会
	9日	(月)	入学式(34+3名入学)
	10~11日	(火~水)	学生オリエンテーション
	12日	(木)	前期授業開始(~7月17日)
	21日	(土)	創立記念日 / 新入生バスハイク(アパソマンミュージアム、龍河洞、ヤフパーク)
	23日	(月)	第2回教授会
5月	7日	(月)	インターンシップオリエンテーション
	9日	(水)	卒論構想発表会 No.1 / 就職ガイダンス
	16日	(水)	卒論構想発表会 No.2 / 第1回社会福祉学部就職セミナー
	26日	(土)	新入生歓迎学年間交流会
	27日	(日)	「第9回高知県障害者スポーツ大会」(学生ボランティア参加)
	28日	(月)	第3回教授会
6月	25日	(月)	第4回教授会
	30~1日	(土~日)	日本精神保健福祉士養成校協会 2007年度全国研修会・総会開催(池キャンパス)
7月	9日	(月)	就職・国家試験ガイダンス
	18日	(水)	前期末試験・補講期間(~7月31日)
	23日	(月)	第5回教授会
	30日	(月)	社会福祉・精神保健福祉現場実習(~10月26日)
	30~31日	(月~火)	第8回高校生のための公開講座
8月	1日	(水)	オープンキャンパス
	10~11日	(金~土)	「第54回よさこい祭り」(日韓学生よさこいチーム Japarean 出演)
9月	3日	(月)	第6回教授会
	16日	(日)	オープンキャンパスに参加できなかった方のための社会福祉学部説明会
	25日	(月)	第7回教授会
10月	1日	(月)	後期授業開始(~2月4日)
	13日	(土)	2007年度リカレント教育講座開講(~1月26日)
	17日	(水)	卒論中間発表会
	22日	(月)	第8回教授会 / 長澤准教授海外研修(~12月29日)
	24日	(水)	第2回社会福祉学部就職セミナー

11月	3~4日	(土~日)	「2007年度全国社会福祉教育セミナー」参加(住友、西内、大田)
	5日	(日)	「第13回公立大学協会社会福祉学系部会連絡会」参加(住友)
	17日	(土)	推薦入学試験・編入学試験(21・2名受験)
	24日	(土)	2007年度リカレント教育講座特別講演:医療制度改革と介護のゆくえ
	26日	(月)	第9回教授会
12月	20日	(木)	第10回教授会 / 卒論提出締切 / 国家試験受験激励会
	26日	(水)	「新たな社会福祉士養成教育内容に関する説明会」参加(西内)
1月	7~9日	(月~水)	国家試験直前強化合宿(4回生企画、県立香北青少年の家)
	12~13日	(土~日)	「第9回福祉教育研修講座」参加(宮上)
	26日	(土)	2007年度リカレント教育講座特別講演:社会福祉専門職養成と社会福祉学部
	26~27日	(土~日)	「第20回社会福祉士国家試験・第10回精神保健福祉士国家試験」(37・23名受験)
	28日	(月)	第11回教授会
2月	4日	(月)	社会福祉学部長選挙
	5日	(火)	現場実習報告会/後期末試験・補講期間(~18日)
	13日	(水)	卒論発表会 / 4回生を送る会(3回生企画)
	16~17日	(土~日)	日本社会福祉士養成校協会中国・四国ブロックセミナー参加(西梅、太田)
	18日	(月)	第12回教授会
	25日	(月)	前期日程入学試験(87名受験)
	27日	(水)	米国エルムズ大学短期研修(~3月10日/長澤准教授引率、1回生1名参加)
3月	3日	(月)	大学院FD講演会(学部FDとして参加)
	5日	(水)	第13回教授会
	8日	(土)	「社会福祉士・精神保健福祉士の新たなカリキュラムの作成に向けて」説明会参加(住友)
	10日	(火)	実習連絡協議会
	12日	(水)	後期日程入学試験(63名受験)
	19日	(水)	卒業式(42名卒業)/第14回教授会
	31日	(金)	社会福祉士・精神福祉士国家試験の合格発表(28・21名合格)

2007年度を振り返る

平成19年度 社会福祉学部社会福祉学科 時間割 平成20年3月31日現在

Table with columns for semester (H18年度), period (1時間, 2時間, 3時間, 4時間, 5時間), subject code, subject name, instructor, and classroom. Includes a summary table at the bottom for course details and a note about instructors.

永: 開講
池: 開講

教科教育法は学科で対応